

**令和2年度**

**事業報告**

自 令和2年4月 1日  
至 令和3年3月31日

**社会福祉法人 大阪市淀川区社会福祉協議会**

## 事業運営諸会合

令和2年

- 4 / 1 (水) 区社協発令式
- 4 / 1 4 (火) 高齢者虐待連絡会・地域包括支援センター合同連絡会議
- 4 / 2 4 (水) 地域社会福祉協議会会長会 (書面)  
○事務局新体制  
○令和2年度事業計画について  
○地域防災用具整備払出しについて
- 4 / 2 8 (火) ブランチ連絡会、関係機関会議
- 5 / 1 1 (月) 淀川子ども居場所ネットワーク定例会 (メール)
- 5 / 1 2 (火) ・地域包括支援センター合同連絡会  
・行政連絡調整会議 (書面)
- 5 / 1 5 (金) 第三者委員会
- 5 / 2 1 (木) 第126回理事会 (書面)  
○令和元年度事業報告について  
○令和元年度決算報告について  
○令和2年度補正予算について  
○理事候補者の推薦  
○評議員候補者の推薦  
○規定・規則の一部改正 (案) について
- 5 / 2 6 (火) 監事監査  
ブランチ連絡会
- 6 / 1 (月) 地域包括支援センター合同連絡会
- 6 / 5 (金) 第68回評議員会 (書面)  
○令和元年度事業報告について  
○令和元年度決算報告について  
○令和2年度補正予算について  
○理事候補者の推薦  
○評議員候補者の推薦  
○規定・規則の一部改正 (案) について
- 6 / 9 (土) 高齢者虐待連絡会・地域包括支援センター合同連絡会議
- 6 / 1 8 (木) オレンジネット
- 6 / 2 3 (火) オレンジ・見守り連携会議  
ブランチ連絡会・多職種連携会議
- 7 / 6 (月) 淀川子ども居場所ネットワーク定例会
- 7 / 7 (火) 自立支援型ケアマネジメント検討会議 (南部包括)
- 7 / 8 (水) 淀川区地域包括支援センター運営協議会
- 7 / 9 (木) ・三役会  
・第127回理事会、第100回地域部会及び地域社協会会長会  
○令和2年度賛助会員の募集

- 令和2年度地域社協事業報告・決算書並びに令和3年度事業計画・予算書の提出
- 敬老月間事業助成金申請書及び敬老者数報告書の提出
- 7 / 14 (火) ・高齢者虐待連絡会・地域包括支援センター合同連絡会議  
・居宅介護支援事業者連絡会 拡大幹事会  
・行政連絡調整会議
- 7 / 21 (火) 南部包括・見守り連携会議
- 7 / 28 (火) ブランチ連絡会
- 7 / 29 (水) 淀川区在宅医療・介護連携推進ワーキンググループ会議
- 8 / 5 (水) 自立支援型ケアマネジメント検討会議 (淀川包括)
- 8 / 6 (木) 募金部会  
○令和2年度共同募金配分金について  
○令和2年度共同募金助成金配分(案)について
- 8 / 7 (金) 第85回広報部会
- 8 / 18 (火) 高齢者虐待連絡会・地域包括支援センター合同連絡会議
- 8 / 19 (水) オレンジネット
- 8 / 21 (金) ・三役会  
・第128回理事会、第101回地域部会及び地域社協会長会  
○議事録署名人の指名について  
○三役の選出  
○令和2年度補正予算(案)について  
○共同募金助成金の配分について(案)  
○淀川区民福祉のつどいの開催について
- 8 / 25 (火) ブランチ連絡会、多職種連携会議
- 8 / 26 (水) 自立支援型ケアマネジメント 小会議
- 9 / 3 (木) 第1回淀川地区募金会 理事会
- 9 / 7 (月) 淀川区子ども居場所ネットワーク定例会
- 9 / 8 (火) ・高齢者虐待連絡会・地域包括支援センター合同連絡会議  
・行政連絡調整会議(書面)
- 9 / 11 (金) 自立支援型ケアマネジメント検討会議 (西部包括)
- 9 / 14 (月) 居宅介護支援事業者連絡会 拡大幹事会
- 9 / 16 (水) 淀川区在宅医療・介護連携推進会議
- 9 / 28 (月) 自立支援型ケアマネジメント 小会議
- 9 / 29 (火) ・ブランチ連絡会  
・大阪市社会福祉大会
- 10 / 1 (木) 自立支援型ケアマネジメント検討会議 (東部包括)
- 10 / 13 (火) 高齢者虐待連絡会・地域包括支援センター合同連絡会議
- 10 / 14 (水) ・淀川区民福祉のつどい  
・オレンジネット  
・認知症初期集中支援事業関係者会議

- 10/20 (火) 南部包括・見守り連携会議
- 10/26 (月) 自立支援型ケアマネジメント 小会議
- 10/27 (火) ・ランチ連絡会、多職種連携会議会  
・淀川区在宅医療・介護連携推進会議
- 
- 11/2 (月) 淀川区子ども居場所ネットワーク定例会
- 11/4 (水) 淀川区包括・見守り連携会議
- 11/5 (木) 自立支援型ケアマネジメント検討会議 (南部包括)
- 11/10 (火) ・第86回広報部会  
・高齢者虐待連絡会・地域包括支援センター合同連絡会議  
・地域ケア推進会議ワーキンググループ  
・行政連絡調整会議 (書面)
- 11/12 (木) 加島地域、西部包括・見守り連携会議
- 11/16 (月) 居宅介護支援事業者連絡会 拡大幹事会
- 11/18 (水) ・淀川区在宅医療・介護連携推進会議  
・三津屋地域、西部包括・見守り連携会議
- 11/19 (木) ・オレンジ・見守り連携会議  
・東部包括・見守り連携会議
- 11/20 (金) 地域社会福祉協議会会長会
- 11/24 (火) ブランチ連絡会
- 11/25 (水) 自立支援型ケアマネジメント 小会議
- 
- 12/1 (火) 自立支援型ケアマネジメント検討会議 (淀川区包括)
- 12/4 (金) ・三役会  
・第129回理事会、第102回地域部会及び地域社協会会長会  
○議事録署名人の指名について  
○地域社会福祉協議会への助成について  
○子ども見守り活動支援助成について
- 12/7 (月) 第87回広報部会
- 12/8 (火) 高齢者虐待連絡会・地域包括支援センター合同連絡会議
- 12/24 (火) ・オレンジネット  
・認知症初期集中支援事業関係者会議 (書面)

#### 令和3年

- 1/12 (火) ・淀川区子ども居場所ネットワーク定例会  
・高齢者虐待連絡会・地域包括支援センター合同連絡会議  
・行政連絡調整会議 (書面)
- 1/14 (木) 居宅介護支援事業者連絡会 拡大幹事会
- 1/15 (金) ・地域社会福祉協議会会長会 (書面)  
・社協役員研修会 ※中止、人権 DVD 配付
- 1/20 (水) 在宅医療・介護連携推進ワーキング会議
- 1/26 (火) ブランチ連絡会

- 1 / 2 8 (木) 認知症施策推進会議（組織代表者）（書面）
- 2 / 2 (火) 淀川区包括・見守り連携会議
- 2 / 9 (火) ・地域社会福祉協議会会長会（書面）  
・地域包括支援センター合同連絡会議
- 2 / 1 7 (水) 加島地域、西部包括・見守り連携会議
- 2 / 1 8 (木) ・薬剤師会、包括、関係機関連携会議  
・東部包括・見守り連携会議  
・ランチ連絡会、多職種連携会議
- 2 / 1 9 (金) 地域社会福祉協議会会長会（書面）
- 2 / 2 4 (水) 三津屋地域、西部包括・見守り連携会議
- 3 / 1 (月) 第2回淀川地区募金会 理事会
- 3 / 5 (金) 課題抽出のケア会議
- 3 / 9 (火) 高齢者虐待連絡会・地域包括支援センター合同連絡会議
- 3 / 1 0 (水) 自立支援型ケアマネジメント検討会議（東部包括）※オンライン
- 3 / 1 2 (金) 淀川区子ども居場所ネットワーク定例会
- 3 / 1 5 (月) 居宅介護支援事業者連絡会 拡大幹事会
- 3 / 1 7 (水) ・三役会  
・第130回理事会  
○議事録署名人の指名  
○令和2年度第3次補正予算（案）について  
○令和3年度事業計画（案）について  
○令和3年度予算（案）について  
○諸規則等の一部改正（案）について  
○役員賠償責任保険契約（案）について  
○第69回評議員会の開催について  
・淀川区在宅医療・介護連携推進会議
- 3 / 1 9 (金) 認知症施策推進会議（組織代表者）（書面）
- 3 / 2 2 (月) 生活支援体制整備事業 協議体
- 3 / 2 3 (火) ブランチ連絡会
- 3 / 2 4 (水) 検証のケア会議
- 3 / 2 5 (木) 第67回評議員会（書面議決）  
○議事録署名人の指名  
○令和2年度第3次補正予算（案）について  
○令和3年度事業計画（案）について  
○令和3年度予算（案）について  
○諸規則等の一部改正（案）について  
○役員賠償責任保険契約（案）について
- 3 / 2 9 (月) 自立支援型ケアマネジメント 小会議

## 賛助会員加入状況一覧

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

### 1 基本会員

件数	55件	金額	359,000円
----	-----	----	----------

### 2 賛助会員

地域	個人（1口 2,000円以上）		法人（1口 5,000円以上）	
	件数	金額	件数	金額
新東三国	5件	10,000円	0件	0円
東三国	18件	38,000円	0件	0円
北中島	31件	74,000円	0件	0円
宮原	22件	107,000円	0件	0円
西三国	30件	63,000円	0件	0円
三国	36件	75,000円	2件	10,000円
新高	17件	34,000円	0件	0円
西中島	38件	76,000円	0件	0円
木川	31件	62,000円	0件	0円
木川南	21件	42,000円	0件	0円
十三	7件	20,000円	0件	0円
野中	15件	50,000円	0件	0円
神津	17件	34,000円	1件	5,000円
新北野	10件	20,000円	0件	0円
塚本	40件	80,000円	0件	0円
田川	5件	13,000円	0件	0円
三津屋	14件	28,000円	0件	0円
加島	46件	92,000円	0件	0円
地域合計	403件	918,000円	3件	15,000円
区社協	6件	24,000円	43件	260,000円
合計	409件	942,000円	46件	275,000円

### 3 名誉会員

件数	6件	金額	21,000円
----	----	----	---------

### 4 会員加入合計

件数	516件	金額	1,597,000円
----	------	----	------------

## 善意銀行事業報告

### 1 件数

種 別	金 銭 預 託		物 品 預 託
預 託	24件	一般預託：12件／指定預託：12件	35件
払 出	35件	一般預託： 8件／指定預託：27件	43件

### 2 収 入

内 容	金 額
前年度繰越金	10,678,119円
一般預託	1,332,043円
指定預託	12,983,000円
利息収入	1,037円
合 計	24,994,199円

### 3 支 出

内 容	金 額
一般払出	571,244円
福祉ボランティア活動応援資金払出	180,000円
ボランティア奨励金支給事業払出	3,000円
指定払出	10,885,007円
事務費・事業費支出	66,497円
合 計	11,705,748円

### 4 次年度繰越金

次年度繰越金	13,288,451円
--------	-------------

## 善意銀行預託状況一覧

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

### 1 金銭預託一般

(敬称略)

氏名	件数	金額
大阪よどがわ市民生活協同組合	1件	800,000円
吉村雅子	1件	300,000円
社会医療法人 協和会職員一同	1件	100,000円
福岡英雄	1件	30,000円
神崎日曜テニスクラブ	1件	30,000円
三国民生委員・児童委員協議会	1件	20,000円
一宮物産(株)	1件	14,043円
匿名	5件	38,000円
合計	12件	1,332,043円

### 2 金銭預託指定

(敬称略)

氏名	件数	金額
(株)ダイヘン	3件	9,500,000円
アンダーツリー(株)	1件	2,420,000円
広洋物産(株)	1件	490,000円
大阪北ライオンズクラブ	1件	300,000円
京セラ(株)大阪営業所一同	1件	133,000円
京セラ(株)大阪営業所	1件	30,000円
京セラ労働組合大阪分会	1件	10,000円
匿名	3件	100,000円
合計	12件	12,983,000円

## 3 物品預託

(敬称略)

氏 名	品 名	件 数
エヌ・アール機器㈱	アルコール手指消毒薬	1 件
大阪北ライオンズクラブ 新梅田シティライオンズクラブ	玩具ほか	1 件
神津ネットワーク委員会	介護用タオル	1 件
カルビー(株) 近畿支店	食料品	1 件
北急ハウジング(株)	食料品	1 件
キューピー(株) 大阪支店	食料品	4 件
㈱高松コンストラクショングループ	食料品	1 件
大阪よどがわ市民生活協同組合	食料品	5 件
生活協同組合コープこうべ	食料品	2 件
大阪府立東淀川高等学校	食料品	1 件
淀川区女性会	食料品	1 件
山西秀哉	食料品	1 件
小西道子	食料品	1 件
花尻 健	食料品	5 件
濱田ます美	食料品	1 件
萩原寿太郎	食料品	1 件
佐藤なぎさ	粉ミルク	1 件
佐々木静江	衣料品	1 件
山本 賢	絵画	1 件
匿名(個人)	食料品ほか	1 1 件
匿名(企業)	食料品ほか(28回)	1 件
合 計		4 3 件

## 善意銀行払出状況一覧

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

### 1 金銭払出一般

(敬称略)

払 出 先	金 額
各地域社会福祉協議会 敬老月間	540,000円
福祉ボランティア活動応援資金(5団体)	180,000円
淀川区社会福祉協議会	31,244円
ボランティア奨励金支給事業	3,000円
合 計	754,244円

### 2 金銭払出指定

(敬称略)

払 出 先	金 額
こどもレスキュー事業助成金	4,384,790円
こども居場所活動支援事業助成金(6団体)	3,000,000円
福祉車両購入助成金	2,420,000円
こども見守り活動支援助成金(11団体)	540,217円
こども食堂事業助成金(7団体)	490,000円
児童養護施設 博愛社	50,000円
合 計	10,885,007円

### 3 物品払出

(敬称略)

払 出 先	品 名
各地域社会福祉協議会	介護タオル
こどもレスキュー事業	食料品
こども食堂	食料品
生活困窮者自立支援事業	食料品
淀川暖気の苑	食料品
ユトリーム大阪北	絵画
幼保連携型認定こども園 博愛社こども園	絵画
児童養護施設 博愛社	絵画・衣料品

## あんしんさぽーと事業（自立生活自立支援事業）事業

あんしんさぽーと事業（自立生活自立支援事業）は、平成11年10月に国の制度になり、認知症や知的障がい、精神障がい等により、日常生活を営むのに支障のある判断能力が不十分な方の権利擁護に資することを目的として、これらの人々が住み慣れた地域で自立した生活を送れるよう、本人と支援協議をし、本人との契約に基づき、福祉サービスなどの利用援助や日常的な金銭管理の援助を行うもので、大阪市では先駆けて、平成9年から、大阪市社会福祉協議会財産管理センターにて事業を行ってきた経緯がある。

平成17年4月からは、実施主体である大阪市社会福祉協議会から各区社会福祉協議会に事業の一部が委託され、利用相談からサービス提供まで行っている。

### あんしんさぽーと（自立生活自立支援事業）実施状況

	契 約	終 了	利用者数	相談援助件数
4月	0件	2件	121件	460件
5月	0件	0件	121件	517件
6月	0件	0件	121件	770件
7月	0件	2件	119件	822件
8月	0件	3件	116件	773件
9月	0件	1件	115件	738件
10月	0件	5件	110件	705件
11月	0件	3件	107件	611件
12月	0件	7件	100件	571件
1月	0件	0件	100件	513件
2月	0件	1件	99件	541件
3月	0件	1件	98件	526件
合 計	0件	25件	1,327件	7,547件

※令和3年3月31日現在の利用者は98人

（認知症の方50人・知的障がい者の方13人・精神障がい者の方34人・その他1人）

※待機者数は23名

（認知症の方17人・知的障がい者の方3人・精神障がい者3人）

※認知症の方の利用希望者も多いが、近年は精神障がいの利用希望者が増加傾向である。

## 各地域福祉活動支援事業

地域における住民の支え合い・助け合い機能を強化する取り組みを支援することにより、地域福祉活動の推進と社会福祉事業の充実を図り、地域福祉の向上を目的として、区社会福祉協議会に委託されている。小学校区単位の小地域の支援からNPOや企業の地域貢献に関することまで、幅広く支援をしている。

### 1 地域福祉活動等の支援

地域社協活動やサロン活動・見守り活動の支援をはじめ、自主団体の運営支援や地域福祉に関する周知・啓発活動を行った。

#### (1) 地域活動者向け研修会

開催日：令和2年9月8日（火）

内 容：第1部 災害に強く優しいまちづくりについて  
第2部 防災クッキング

#### (2) 子育てサロンの支援

地域の子育てサロンを訪問、相談、助言を行うことで支援者と繋がり、支援者連絡会に積極的に参加して情報交換や他機関との連携を図った。

#### (3) 地域社協や地域ネットワーク委員会の支援

総会への出席・研修会の開催など、地域福祉活動推進にかかわる相談助言

#### (4) 自立支援協議会

障がい者支援を行う各事業所との連携

#### (5) 区民まつりへの参加

令和2年度淀川区民まつりは、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となる。

#### (6) 北中島まつりへの参加

アクションプランの「D o ! ほっこり市」から始まった、北中島まつりは、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となる。

### 2 淀川区民福祉のつどいの開催

地域福祉の推進のために、地域住民の福祉活動を拓げることを目的に、10月14日に淀川区民センターにおいて、「淀川区民福祉のつどい」を開催した。

開催日：令和2年10月14日（水）

内 容：第1部 「大阪市淀川区社会福祉大会」

長年にわたり地域で福祉活動に携わってこられた方々の功績をたたえた表彰と、善意銀行へ多額の預託をされた方々への感謝状の贈呈

第2部 映画上映会 「こんな夜更けにバナナかよ 愛しき実話」

### 3 「認知症の人にやさしい地域づくり」講演会の開催

認知症について正しく理解し、地域で支えあっていくため、共に学び考えていくことを目的に令和2年11月26日（木）に「99歳母と暮らせば」の映画上映会を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となる。

### 4 区社会福祉施設連絡会の事務局運営

区社会福祉協議会が事務局となっている淀川区社会福祉施設連絡会では、区内約48の福祉施設が会員となり、研修や情報交換等を行った。

《令和2年度実施事業》

総会（書面決議）：令和2年6月

役員会：2回（令和2年7月14日、11月27日）

施設見学：新型コロナウイルス感染拡大防止により中止

施設間交流：〃

研修：全国地域福祉施設研修会 「共生（とも）に生きる」 zoom  
令和3年2月20日（任意参加）

### 5 「わいわいネットわーく」の事務局

区内で社会福祉活動している様々な団体・個人が、月に一度定例会を開催し、連携を深めながら人権・福祉・環境・文化のネットワークづくりを行っている。

“ほんまにやさしいまちづくり”を目的に、様々なイベントや勉強会を開催しており、区社会福祉協議会はその事務局として運営支援・協力を行うが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により活動を自粛した。

### 6 「こども居場所ネットワーク」の事務局

区内でこども食堂や宿題ひろば、放課後活動などの主催者や今後立ち上げを考えている方、活動を応援したい方などが集まり、2カ月に1回定例会を開催し情報交換やマップを活用し広報活動を行い、区社協は事務局として運営支援を行った。

### 7 豊かな協働

C Pサッカー（脳性まひ7人制サッカー）と田辺三菱製薬との協働

毎年1回、福祉教育を兼ねスポーツを通じて障がいを理解する取り組みを実施していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

### 8 広報活動

(1) 淀川区社会福祉協議会の広報紙として『淀川社協だより』を年2回発行した。

・第57号（8月 4万9千部発行）

・第58号（1月 4万9千部発行）

・広報部会開催（書面：7月10日・8月7日・12月7日、対面会議：11月10日）

(2) 淀川区社会福祉協議会のホームページやフェイスブック、インスタグラムを活用し情報発信を行った。

※ホームページアドレス <http://yodogawa.kusyakyou.or.jp>

## 9 児童・青少年福祉活動

児童・青少年健全育成推進のため、区並びに地域の児童・青少年関係団体が行う事業に協力を行い、また助成した。

福祉教育推進事業として区内の小中学校などにおいて福祉教育を行った。

	実施日	受講者	内容
1	10月 16日	田川小学校 3年生	車椅子体験
2	10月 16日	田川小学校 3年生	福祉講和（聴覚障がい）
3	11月 6日	十三中学校 1年生	車椅子体験・視覚障がい体験
4	1月 20日	英真学園高校 1・2年生	車椅子体験
5	1月 27日	英真学園高校 1・2年生	車椅子体験
6	2月 3日	英真学園高校 1・2年生	車椅子体験
7	3月 19日	木川南小学校 4年生	車椅子体験

## 10 認知症サポーターの養成

認知症になっても安心して暮らせるまちづくりのため、区在住・在勤の方を対象に、認知症について正しい知識をもち、認知症の方やその家族を応援し、誰もが暮らしやすい地域をつくっていくボランティアを育成することを目的とする。

	実施日	開催団体	参加人数
1	7月 17日	保健福祉専門学校	100人
2	10月 31日	淀川区社会福祉協議会	28人
3	2月 16日	淀川区社会福祉協議会	10人

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定していた講座が中止や延期となり、開催回数が昨年度より減少

## 11 防災訓練への参加

地域の防災訓練において、車椅子による要援護者体験をし、周知啓発を行った。車椅子の使い方や要援護者の気持ちを考える機会となった。

## 12 災害ボランティアセンターに関する取り組み

災害時における、災害ボランティアセンターの運営や、地域内での自助・共助を円滑に進めるため地域住民と共に訓練を行った。

実施日	内 容	対 象	参加人数
9月 6日	津波・高潮ステーション見学	地域住民	18人
9月19日	災害ボランティアセンターの役割について・ニーズとボランティアを組み合わせるマッチングカードゲーム	地域社協会長・防災リーダー・地域住民	45人
11月28日	災害ボランティアセンターの運営・立ち上げ訓練	地域住民	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止

## ボランティア・市民活動センター事業

ボランティア・市民活動センターは地域住民が集い、学び、交流ができる機会を提供し、より多くの住民がボランティアや市民活動に参加できるよう周知を図っている。

今年度はコロナ禍の中でもボランティア活動を止めることがないように、活動の機会を提供し、ボランティアの裾野を広げるため写真コンテストの開催等に力を入れた。

### 1 コロナ禍におけるボランティア活動の支援

#### (1) コロナ禍でもできるボランティア活動の機会提供

##### ア 自宅でできるボランティア

緊急事態宣言や大阪府のレッドステージが出ているときに、自宅でできるラベル貼りやちらしの修正、スタンプ押しのボランティア活動を提供。

##### イ フードドライブの寄付の呼びかけ

新型コロナウイルス感染症の影響を受けて休業や失業に至り、食べ物を必要としている区民の支援をするため、やすらぎ通信やフェイスブック等により家庭で余っている食料の寄付の呼びかけを実施。

##### ウ 写真コンテストの開催

新型コロナウイルス感染症によりボランティア活動が制限されるなか、写真を通して人と繋がり、元気になってもらう写真コンテストを実施。気軽に参加できるボランティア活動のきっかけづくりにもなった。

#### (ア) よどがわスマイル写真コンテスト

応募期間：令和2年7月1日～31日

内 容：撮影テーマは「笑顔」。明るい話題を提供し、コロナ禍における漠然とした不安を解消してもらう。

対 象：淀川区在住・在勤・在学

応募点数：24点

受賞者：最優秀賞1点、優秀賞1点、特別賞3点

#### (イ) よどがわ秋の写真コンテスト

応募期間：令和2年10月6日～31日

内 容：撮影テーマは「秋」。コロナ禍で外出機会が少なくなる中、区民の目を楽しませてくれる季節感ある写真を募集。

対 象：淀川区在住・在勤・在学

応募点数：16点

受賞者：最優秀賞1点、優秀賞1点、特別賞3点

## (2) 活動場所の支援

淀川区ボランティア・市民活動センターのボランティアルームを改修。これまで利用していた施設の休館等により活動ができなくなった団体に対し、定例会や活動場所の提供をした。

ア 淀川区音訳ボランティアグループ「こもれび」（音訳・手引き・朗読等）

イ すみれ会（厨房・保育・認知症カフェ「オレンジ」・行事の受付）

ウ SWS48（手話）

## (3) 認知症カフェ「オレンジ」の活動支援

令和2年下旬より活動を自粛していたが、令和2年10月1日から密にならないように開催場所を会議室に変更し、参加者およびボランティアの検温や問診、新型コロナウイルス感染症の感染症防止対策、大阪コロナ追跡システムの導入をして再開した。

## 2 善意銀行 特定テーマ払出「福祉ボランティア活動応援資金」による活動支援

淀川区内で活動している福祉ボランティアを対象に募集。5団体が払出を受け、活動に必要な物品の購入や会場費等に活用した。

## 3 ボランティア登録・活動状況（令和3年3月31日現在）

(1) ボランティア登録者数 個人……………170人  
グループ ……………27グループ

### (2) ボランティア活動状況（延人数）

- ・厨房（デイサービス） 238人
- ・陶芸（デイサービス） 0人 ※令和2年度は開催中止
- ・認知症カフェ「オレンジ」 23人 ※令和2年10月1日～11月12日に開催
- ・保育 0人 ※他機関からの依頼はあったが、全て中止
- ・その他 79人 ※他機関・地域等の依頼

## 4 ボランティア交流会の開催

行事名：「令和2年度よっしゃー！やるっちボラ交流会」

日時：令和2年3月24日（水）午後1時30分～4時

対象：ボランティアに興味がある方、淀川区ボランティア・市民活動センターに登録している個人ボランティア・ボランティア団体

目的：ボランティア同士の交流を通し、お互いの活動や想いを知り、各自のボランティア活動に活かすことや横の繋がりをつくることを目的とする。また勉強会では障がい理解を深めるとともに、円滑な人間関係を構築するためにノンバーバルコミュニケーションである手話を学び、各自のボランティア活動に活かしてもらおう。

内容：第1部 勉強会①「手話から学ぶ！心のバリアをぶっ壊せ」

講師：一般社団法人手話エンターテイメント発信団 oioi

勉強会②「災害時の聴覚障害者への配慮とは？」

講師：手話サークル「葦の会」

## 第2部 交流会

## 第3部 事務連絡

※ろう者の参加もあったため、手話通訳を付けて開催した。

参加者：会場参加者人36人（オンライン同時開催）

開催場所：大阪ガーデンパレス 2階 葵の間

## 5 居場所づくりの開催

### (1) 居場所づくり・集いの場「第2回ゆっくりくるり」

日時：令和2年8月25日（火） 午後2時～4時

目的：日常生活において手助けを必要とし、生きづらさを感じている方に対して地域の中で居場所を提供。人との触れ合いを通し、社会とつながることを楽しみ、生きる活力を得る。

内容：ボランティアや支援機関のサポートを受けながら参加者同士がアイスクレイクや談話を通し交流を深めた。またボランティアによるオカリナやピアノ演奏を聴き、楽しい時間を共有した。

対象：精神疾患のある方、引きこもりがちの方、若年性認知症の方など

参加者：10人

支援者：4人（淀川区生活自立相談窓口、地域生活支援センターえんじょい、大阪府社会福祉協議会施設福祉部社会貢献推進室）

ボランティア：3人

開催場所：淀川区在宅サービスセンター やすらぎ 3階会議室

### (2) 居場所づくり・集いの場「第3回ゆっくりくるり」

令和2年12月22日（火）午後2時～4時にボランティアによる弦楽器とピアノ演奏の内容で開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期。代わりに参加予定者や「ゆっくりくるり」の対象者である21名にボランティアの協力を得て作成したクリスマスカードを発送した。

## 6 啓発・広報活動

(1) ボランティア情報紙「やすらぎ通信」を毎月1回発行。区内の公共施設や福祉施設各地域の社会福祉会館、スーパー等に設置している。

(2) ボランティア活動を広めるために「淀川社協だより」、「よどマガ!」、ホームページやフェイスブックを活用し、ボランティア関連の情報を発信した。

## 青色防犯パトロール事業

令和3年3月31日現在、講習を受けられた5地域の運転ボランティアの方々が青色防犯パトロール車で地域を巡回している。

地域での犯罪抑止に貢献し、地域防犯・安全に寄与することを目的に実施した。

### 1 青色防犯パトロール実施状況

地 域	実 施 日	活動回数
宮 原	毎週火曜日（月4回～5回）	32回
西 中 島	毎週4水曜日（月4回～5回）	0回
北 中 島	第2・第4金曜日（月2回）	13回
木 川	毎月第1・第3月曜日（月2回）	13回
野 中	毎月第3・第4木曜日（月2回）	6回

※新型コロナウイルス感染拡大防止により、車内密を避けるため乗車人数や活動を自粛

### 2 地域運転ボランティア「青色防犯パトロール講習会」実施

※年2回春・秋に講習会を実施していたが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の為、講習会は中止となる

## 地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業

少子高齢化、社会的孤立の広がり、生活課題の複雑・多様化、地域コミュニティの衰退が課題となっているなか、平成27年より地域におけるよりきめ細やかな見守りネットワークの実現をめざす事業として「見守り相談室」を設置しております。

### 1 要援護者情報の整備・管理

行政が保有する要援護者情報を活用し、見守り活動に実用的な「要援護者名簿」を作成している。年1回郵送で同意確認し、同意確認が取れなかった方には区内各地域に配置している見守り支援員が、ポスティングによる同意確認を行った。また、見守り支援員の役割は地域の生活者という立場もあり各地域で孤立世帯の早期発見にもつながる支援を行っている。

要援護者名簿の理解については、各地域団体に対して見守り活動の推進に向け地域の実情に合わせた説明会を行い、名簿提供をすることができた。

### 2 孤立世帯等への専門的対応

見守り支援ネットワーク(コミュニティソーシャルワーカー)を区内地域包括支援センター圏域ごとに4名配置している。また、区内18地域の支援員と連携し、身近な相談窓口としての強化を図り、顔の見える関係づくりをすすめている。相談において地域包括支援センター・障がい相談支援事業所などの専門機関や民生委員・町会長など地域の活動者と、孤立世帯へ支援ネットワークを構築しながら適切な支援へとつないでいる。

今年度は新型コロナウイルス感染症による失業、子育て世代の生活困窮相談が増加し、複合的な課題を抱えている方の相談が多くあったため、多くの課題を抱える世帯に対して専門機関とケース会議を重ね、多職種連携をしながら支援を行うことができた。

相談件数				
訪問	電話	来所	その他	合計
1, 111件	2, 956件	445件	80件	4, 592件

相談内訳					
経済・生活問題	福祉サービス	保健・医療	介護	子育て	就労
2, 493件	384件	318件	37件	78件	1件
いきがいづくり	虐待	家族問題	見守り訪問	ごみ屋敷	その他
118件	39件	136件	252件	70件	1, 312件

### 3 認知症等の行方不明時の早期発見

徘徊高齢者等の早期発見システム「見守りメール」について周知を図ることにより徐々に認知されてきており、事前登録の依頼や相談が地域住民や居宅介護支援事業所地域包括支援センターから増えている。

また、警察が保護した方の中で認知症の疑いがあり、適切な支援につながっていないと思われる方の情報提供（認知症高齢者等支援対象者情報提供制度）の対応を行ってきた。今後も警察、関係機関と連携し安心して暮らせる地域を目指していく。

	協力者種別					
	本市事業 委託機関	介護保険制度 関係団体	医療関係 団体	地域関係 団体	民生委員 児童委員	その他
協力者数	21件	4件	13件	0件	158名	26件

登録者合計	性別内訳		年齢内訳			
	男	女	65歳未満	65～70歳 未満	70～75歳 未満	75歳以上
46名	30名	16名	2名	1名	3名	40名

	行方不明発生状況(登録者)		発見状況(登録者)	
	発生件数		区内	府下
合計	2件		2件	0件

## 生活支援体制整備事業

高齢者が安心して住みやすいまちづくりを目指し、地域住民や関係団体と連携してささえあい活動の推進や介護予防・生活支援の充実を図る事業である。

集まれなくてもつながる方法を模索し、元気ですか通信や写真コンテスト、マップや広報誌を作成するなど、コロナ禍でできることを実施し、つながりが途切れることなく、暮らしを気にかけてあうことのできる方法を地域や関係団体と取り組んだ。

### 1 ニーズと地域資源の把握・ネットワーク構築

#### (1) 協議体の開催

日 時：令和3年3月22日（月）

参加者：淀川区役所保健福祉科、市民協働課、まちづくりセンター、オレンジチーム、各地域包括支援センター

内 容：事業報告や次年度の事業計画及び第2層生活支援コーディネーターを説明意見交換を行い、各専門職との情報共有やネットワーク構築を図った。

#### (2) 地域活動協議会定例会へ参加

区社協事業の取り組みを発信すると同時に、地域での取り組みを情報収集し、多様な団体と顔の見える関係づくりに努めた。

#### (3) 「元気ですか通信」の発送

地域活動の中止や外出自粛が長期化する中、地域での暮らしを調査し、つながりを絶やさない仕掛けとして、状況を調査する返送はがきと社協事業のチラシ等を発送。発送先は、地域の食事サービス利用している方1,649名、老人福祉センターに登録している方730名。

### 2 地域資源・サービスの開発

#### (1) 認知症カフェの立ち上げ支援

淀川区オレンジチームと認知症カフェ立ち上げボランティア養成講座を開催。（10月6日、10月9日）認知症カフェ開催予定のフリースペースは感染症対策が十分に取れず、新たな活動場所を模索中である。養成講座開催以降は、準備期間として参加メンバーと思いを共有するミーティングの場を開催した。

#### (2) スマホ教室の開催

老人福祉センターとアンケート調査を実施し、スマホへの関心が高いことが分かったため、老人福祉センターとボランティア・市民活動センターとスマートフォン講習会を合同開催した。（3月10日、3月11日）

次年度は、スマートフォンの使い方を教えるサークル化の立ち上げを見据え、スマホボランティア養成講座を開催予定。

### (3) よどがわ映画サロンの継続支援

NPO 法人と協力し、誰もが参加し楽しむことができる映画サロンの自主運営に向けた取り組みを支援している。世話人同士での話し合いが進むことでそれぞれの役割分担ができていく。開催回数を重ねることで、地域活動としても定着しつつある。

### (4) 転倒予防運動教室の開催

履正社専門学校と連携し、講師・学生による運動教室を開催

第1クール	開催日	7月14日～8月4日 午前10:30～正午 午後1:30～3:00
	参加者	午前6人 午後6人
第2クール	開催日	9月29日～12月15日 午前10:30～正午 午後1:30～3:00
	参加者	午前6人 午後6人

## 3 活動の場の発掘・開発

### (1) よどがわ写真コンテストの開催

写真を通して人とつながり、元気になってもらう写真コンテストをボランティア・市民活動センターと共同開催。(テーマ「笑顔」募集期間：7月1日～31日、テーマ「秋」募集期間：10月6日～31日)

### (2) 淀川区版今年の漢字募集の開催

誰もが参加しやすいテーマとして、淀川区地域包括支援センターと共同開催。最多集計された漢字はボランティアによって清書され、区社協1階で掲載した。(募集期間12月9日～12月8日)

## 4 サービスや実施情報などの周知

### (1) 「淀川まるっとかわら版」の発行

生活支援コーディネーターの取り組みや地域活動の情報を発信する機関紙を発行した。

### (2) つながり・交流の場マップの作成

地域や南部包括支援センターとともに地域資源を整理し、地域資源が見える化を行った。

### (3) 出張！かけはし相談室の開催

在宅医療介護連携コーディネーター、チームオレンジ、西部包括支援センターと連携し、商店街にて出張相談室を開催した。(10月31日)

## 生活福祉資金貸付事業

生活福祉資金貸付制度は、低所得者、障がい者又は高齢者を対象に資金の貸し付けと必要な相談・支援また民生委員による必要な生活支援を行うことにより、経済的自立及び安定した生活を送れるようにすることを目的とした貸付制度である。

令和2年3月から新型コロナウイルス感染症の影響で収入が減少し生活が困窮していることを踏まえ、貸付の対象世帯を拡大し生活福祉資金の特例貸付を実施している。

総合支援資金・・・失業や減収により生活再建のため継続的な相談支援を必要とし、貸付を行うことにより自立が見込まれる世帯に対し、資金を貸付けることにより、世帯の自立を支援。

福祉資金・・・低所得者、障がい者または高齢者の世帯に対し、資金の貸付を行うことで経済的自立・生活意欲の助長促進・社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるようにすることを目的とするもの。(13項目の貸付項目がある)

教育支援資金・・・「生活保護世帯」、府市町村民税「非課税世帯」などの低所得者世帯を対象にし、学校教育法に規定する高校、短大、大学、高等専門学校に就学するのに必要な経費について無利子で貸付を行う制度。

### 1 生活福祉資金・総合支援資金・つなぎ資金受付件数

	生活福祉資金	総合支援資金	つなぎ資金
4月	0件	0件	0件
5月	0件	0件	0件
6月	2件	0件	0件
7月	1件	0件	0件
8月	1件	0件	0件
9月	2件	0件	0件
10月	2件	0件	0件
11月	1件	0件	0件
12月	3件	0件	0件
1月	1件	0件	0件
2月	3件	0件	0件
3月	4件	0件	0件
合計	20件	0件	0件

## 2 特例貸付受付件数

	緊急小口資金	総合支援資金	総合支援資金 (延長)	総合支援資金 (再貸付)	
4 月	599件	0件	/	/	
5 月	758件	77件			
6 月	651件	486件			
7 月	291件	390件			4件
8 月	269件	216件			420件
9 月	269件	265件			268件
10月	173件	203件			227件
11月	105件	90件			162件
12月	128件	103件			160件
1 月	121件	93件			71件
2 月	254件	154件	84件	84件	
3 月	210件	246件	71件	204件	
合 計	3,824件	2,323件	1,467件	288件	

## 生活困窮者自立相談支援事業

平成28年4月から、社会福祉法人みなと寮と共同体を構成し、区役所3階にて、みなと寮から主任相談支援員1名、相談支援員4名の計6名を配置し、相談対応を行い、地域との連携やアウトリーチ及び週1回、区社会福祉協議会から職員を派遣している。

関係機関との連携を図り、生きづらさを抱える方の理解と啓発活動にも取り組み、相談を受け就労に繋いだ件数が市内においても多く、自立への成果がみられた。

また、善意銀行事業として、持ち金もなく制度にもつながらず、食べ物に困る人を対象とし、一人1回限り2,000円までの食料を手渡す「緊急生活食糧支援事業」と就職は無理でもボランティア活動を希望される生活困窮者へ5回を限度として1回1,000円を支給する「ボランティア奨励金」の2種類の社会資源を創出し、相談対応の幅を広くした。

	男	女	延人数	就労者数
4月	114人	73人	318人	1人
5月	23人	18人	163人	3人
6月	27人	15人	141人	2人
7月	22人	18人	87人	9人
8月	18人	14人	82人	7人
9月	19人	11人	75人	3人
10月	17人	11人	68人	6人
11月	14人	14人	91人	2人
12月	21人	16人	81人	3人
1月	17人	16人	82人	3人
2月	16人	14人	76人	5人
3月	24人	18人	115人	6人
合計	332人	238人	2,537人	50人

※住宅確保給付金申請者689名（内窓口申請者404名）

## 介護予防事業

区社会福祉協議会は介護予防教室（なにわ元気塾）を実施している。

生活機能の低下が認められる高齢者や閉じこもりがちな高齢者を含め、すべての高齢者が、定期的（月1回）教室に参加し、地域の人と交流の機会をもつことで認知機能や生活全般の活性化を図る。

また教室の参加をきっかけとして外出の機会を増やすなど、自分らしい活動的な生活を送ることが出来るよう支援する。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、大阪市からの中止要請や、地域会館の使用制限により介護予防教室が中止になったことから、電話による安否確認やお手紙の送付等つながりを絶やささないよう活動した。

地域名	登録者数	開催曜日・時間
東三国①	12人	第3火曜日 午前10時～
新東三国②	14人	第2火曜日 午前10時～
東三国	9人	第1水曜日 午後2時～
北中島	21人	第4火曜日 午前10時～
宮原①	18人	第1月曜日 午前10時～
宮原②	13人	第3月曜日 午前10時～
西三国	15人	第4木曜日 午後2時～
三国①	18人	第2水曜日 午後2時～
三国②	15人	第2金曜日 午後2時～
新高	18人	第1水曜日 午前10時～
西中島	15人	第2水曜日 午前10時～
木川	18人	第1月曜日 午後2時～
木川南	12人	第3水曜日 午後2時～
十三	13人	第3月曜日 午後2時～
野中	10人	第4月曜日 午後2時～
神津	8人	第1木曜日 午後2時～
新北野	20人	第3木曜日 午後2時～
塚本	19人	第3水曜日 午前10時～
田川	19人	第4水曜日 午後2時～
三津屋①	12人	第2木曜日 午後2時～
三津屋②	10人	第2火曜日 午後2時～
加島①	14人	第1木曜日 午前10時～
加島②	18人	第1火曜日 午前10時～
加島③	12人	第1金曜日 午前10時～
合計	353人	18地域 24か所

## 通所介護（デイサービス）事業

介護保険認定による要介護1～5、要支援1・2と認定された方やその家族の方と契約し、住み慣れた地域で日常生活を営むことができるよう、通所介護サービス計画に基づき、健康チェックや安全な入浴、食事、日常動作の機能訓練（トイレ誘導など）レクリエーション（運動機能訓練）、自宅までの送迎などのサービスを提供している。

通所介護サービスは、介護保険制度の根幹ともいえる在宅介護を支える重要な役割に位置づけられている。他の介護サービスや医療サービス、地域との連携や情報交換などの在宅支援も求められている。

また、地域中学校の職場体験、淀川区看護専門学校、福祉専門学校や大学などの実習の受け入れや地域ボランティアサークルの活動の場、介護ポイント事業の受け入れ施設としての役割も担っている。

高齢化社会を迎え、介護度の高い利用者が増加し、医療的処置が必要な利用者や、認知症利用者も増加し、契約者数の9割を占めている。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じ、休止することなくサービス提供をした。

### 1 契約者の年齢別状況

	60～69歳	70～79歳	80～89歳	90歳以上	合計
男	2人	1人	1人	1人	5人
女	0人	2人	14人	3人	19人
合計	2人	3人	15人	4人	24人

### 2 契約者の介護別状況（契約者数は各月末時点）

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	要支援1	要支援2	合計
4月	75人	50人	26人	38人	4人	4人	9人	206人
5月	72人	44人	23人	19人	4人	3人	8人	173人
6月	81人	57人	36人	10人	5人	5人	9人	203人
7月	75人	52人	37人	17人	9人	9人	8人	207人
8月	70人	48人	33人	11人	9人	8人	9人	188人
9月	72人	53人	45人	16人	9人	11人	7人	213人
10月	59人	61人	48人	20人	9人	7人	18人	222人
11月	56人	43人	29人	18人	4人	8人	17人	175人
12月	47人	33人	28人	21人	5人	8人	15人	157人
1月	41人	31人	20人	19人	1人	8人	16人	136人
2月	38人	36人	23人	19人	3人	15人	16人	150人
3月	39人	48人	27人	18人	9人	19人	22人	182人
合計	725人	556人	375人	226人	71人	105人	154人	2,212人

### 3 利用状況（延利用者数）

	開設日数	1日平均利用者数	新規契約者数	月末契約者数
4月	21日	9.8人	1人	21人
5月	19日	9.1人	0人	20人
6月	22日	9.2人	3人	21人
7月	21日	9.8人	1人	24人
8月	20日	9.4人	1人	23人
9月	20日	10.6人	1人	24人
10月	22日	10.0人	2人	25人
11月	19日	9.2人	1人	25人
12月	20日	7.8人	0人	22人
1月	19日	7.1人	0人	20人
2月	18日	8.3人	2人	23人
3月	23日	7.9人	4人	26人
合計	244日	9.0人	16人	

### 4 サービス内容別延利用者数

	食事サービス	入浴サービス	減免対象者
4月	195人	195人	0人
5月	163人	166人	0人
6月	190人	193人	0人
7月	196人	198人	0人
8月	177人	181人	0人
9月	201人	195人	0人
10月	211人	206人	0人
11月	164人	173人	0人
12月	154人	156人	0人
1月	136人	136人	0人
2月	150人	148人	0人
3月	182人	178人	0人
合計	2,119人	2,125人	0人

## 地域包括支援センター事業

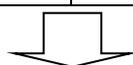
◆担当圏域内第1号被保険者数（ 12,331 ）人

### 1 総合相談支援事業

高齢者やそのご家族、地域の支援関係者からさまざまな相談をうかがい、適切なサービス・支援につなぐ。

#### (1) 総合相談件数

実 人 員	895人
-------	------



相談延人員（相談内容）	相談延人員	認知症疑いあり 人員	認知症疑いあり 割合
家族・家庭問題	166人	67人	40.3%
経済・生活問題	2,197人	1,104人	50.2%
介護サービス	2,259人	788人	34.8%
介護予防サービス	660人	75人	11.3%
介護予防事業	14人	1人	7.1%
福祉サービス	427人	50人	11.7%
保健・医療サービス	809人	457人	56.4%
虐待	348人	242人	69.5%
成年後見制度	148人	120人	81.0%
生きがいづくり	15人	10人	66.6%
その他	140人	38人	27.1%

#### (2) 会議開催・参加状況

地域ケア会議の開催	42回
総合相談窓口（ブランチ）連絡会議	12回
地域密着型サービス運営委員会への参加	4回
ネットワーク構築のための会議開催・参加	67回
区運営協議会への出席	3回
サービス利用者調整会議	53回
自立支援型ケアマネジメント検討会議	12回
その他地域との関係づくり等	52回
合 計	239回

## 2 包括的継続的ケアマネジメント

地域の介護支援専門員が困った時には個別に相談に応じ、研修会・連絡会を開催し、地域の関係者同士が協力しやすい体制づくりに取り組んだ。

介護支援専門員個別相談件数	1, 073件
居宅介護支援事業者連絡会の開催・参加	5回
介護支援専門員への研修会の開催	5回

担当圏域内居宅介護事業者数 (15) か所

## 3 権利擁護

高齢者虐待の早期発見・防止、高齢者の権利を守るために相談に応じた。

受理件数 23件

## 4 第1号介護予防支援事業（総合事業における介護予防ケアマネジメント）

事業対象者の状態やニーズをもとにアセスメントを行い、自立支援につながる介護予防ケアマネジメントを実施した。

第1号介護予防支援ケアプラン作成状況

	原則的介護予防 ケアマネジメント	初回のみ ケアマネジメント
包括支援センター分	1, 373件	0件
一部委託分	3, 664件	0件
計	5, 037件	0件
(委託率 %)	72.7%	0件

## 5 ケア会議から見えてきた課題への取り組み

### 【ケア会議から見えてきた課題】

- ・介護をする家族、支援者が本人のケアを抱え込み疲弊し、適切なサービスにつながらず虐待に至っているが、「虐待」という言葉への抵抗が強く、相談に上がりにくい。
- ・若年性認知症など若い世代の相談が増加し、介護保険につなぐ前の支援が増加。
- ・建物の老朽化、家賃滞納、認知症などで自宅から立ち退かざるを得ないが独居、身寄りなし等で支援が必要な事例が増加。

### 【取り組み】

- ・包括の周知のため町会や集合住宅掲示板、店舗等にポスター掲示した。
- ・コロナ禍であるが、オレンジチーム、在宅医療介護連携相談室、生活支援コーディネーター、ランチで少規模の多職種連携会議を定期的で開催し、連携強化した。
- ・コロナ禍であり、限られた地域であるが高齢者虐待の学習会を行い、周知を行った。

## 淀川区老人福祉センター事業

高齢者に関する各種の相談に応じ、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を供与するとともに、地域福祉活動を支援した。

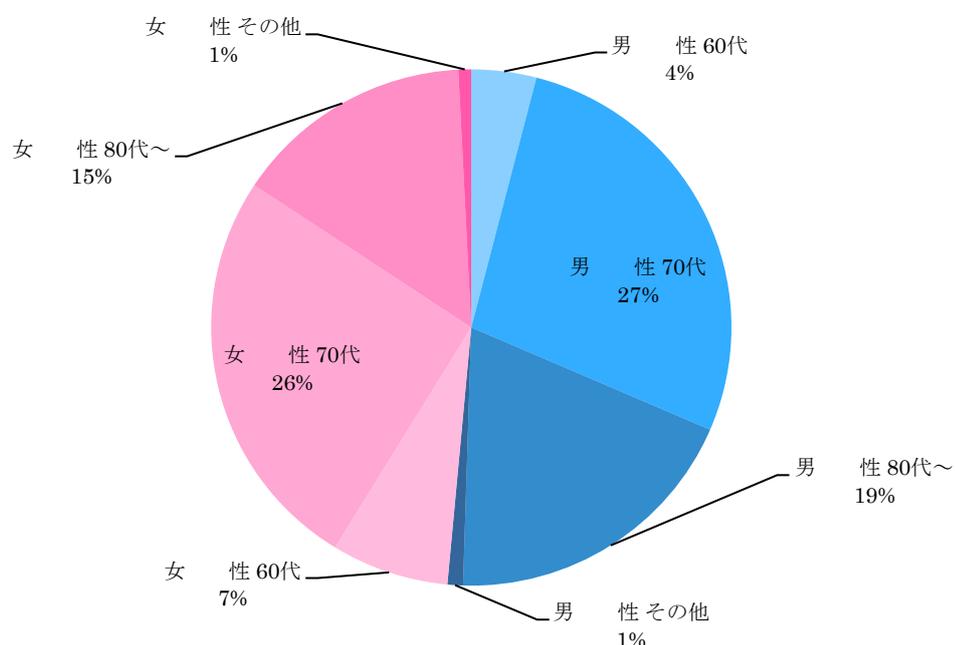
今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、年度当初から6月18日まで臨時休館、また今年1月15日～2月28日までは、介護予防関係事業以外の利用を制限することとなった。臨時休館中は、職員の電話相談やセンターだよりを郵送するなど、利用者とのつながりを絶やさぬような取り組みをした。

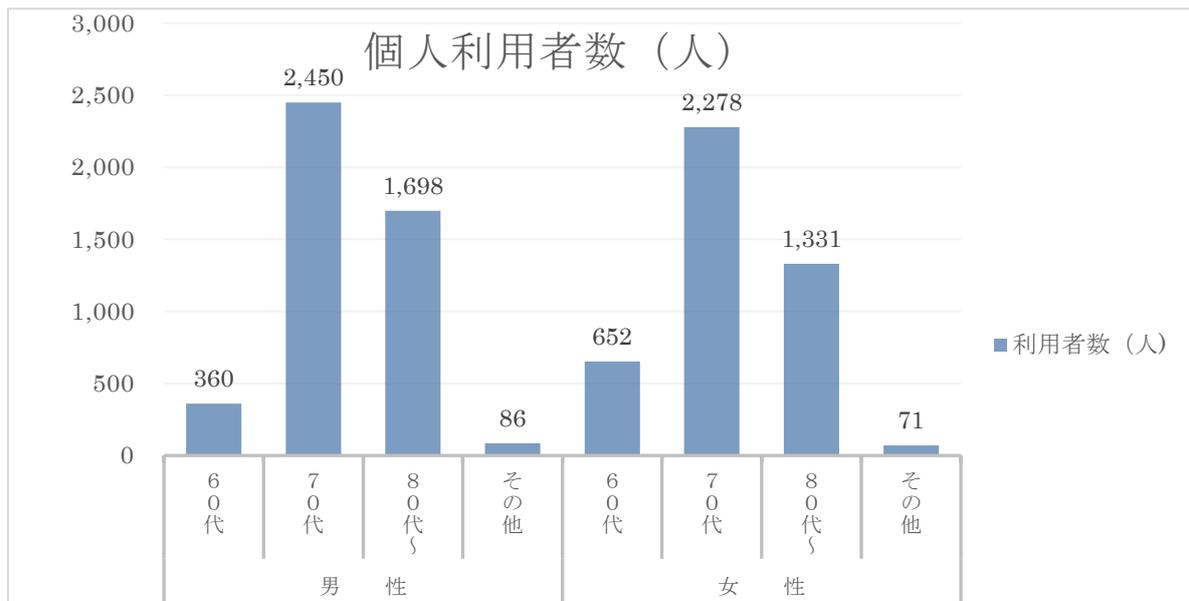
### 1 利用者数

個人利用者数（年代別・性別利用者数）

	60歳代	70歳代	80歳代以上	その他	合計
男	360人	2,450人	1,698人	86人	4,594人
女	652人	2,278人	1,331人	71人	4,332人
合計	1,012人	4,728人	3,029人	157人	8,926人

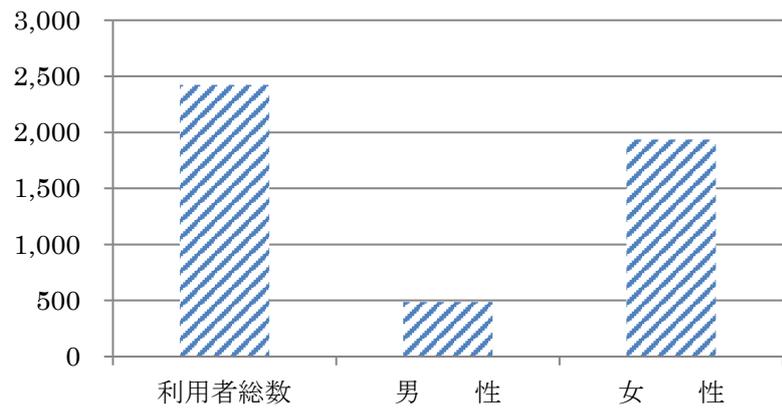
#### 利用者数内訳





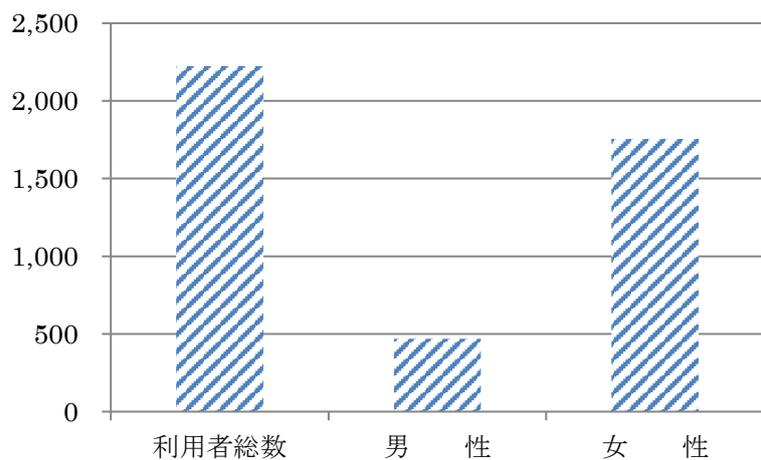
○サークル活動利用者数（同好会含む）

	利用者数
男	487 人
女	1,935 人
合計	2,422 人



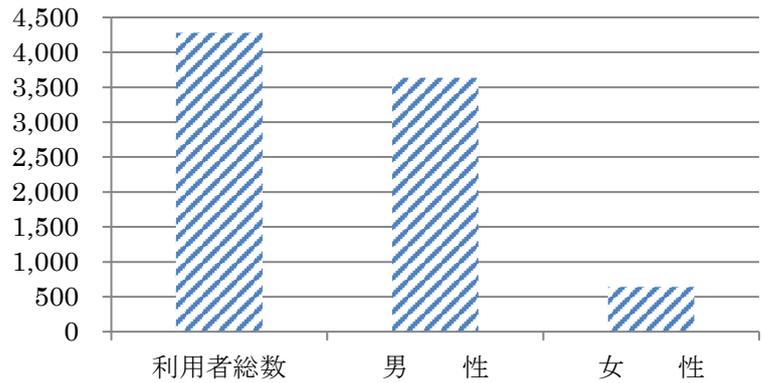
○事業・講座参加者数

	利用者数
男	469 人
女	1,755 人
合計	2,224 人



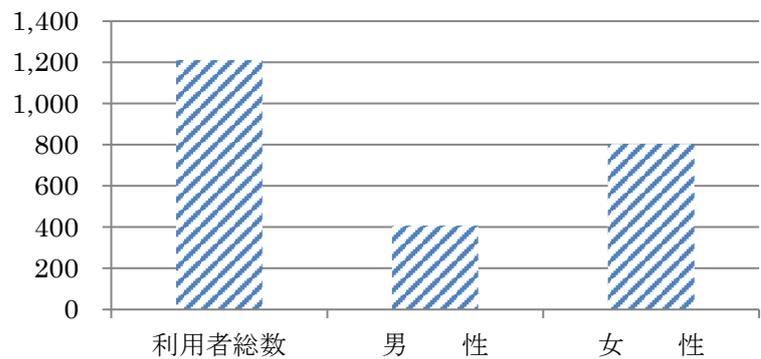
○通常利用者数（囲碁将棋・バンパー・ロビー利用）

	利用者数
男	3,638人
女	642人
合計	4,280人



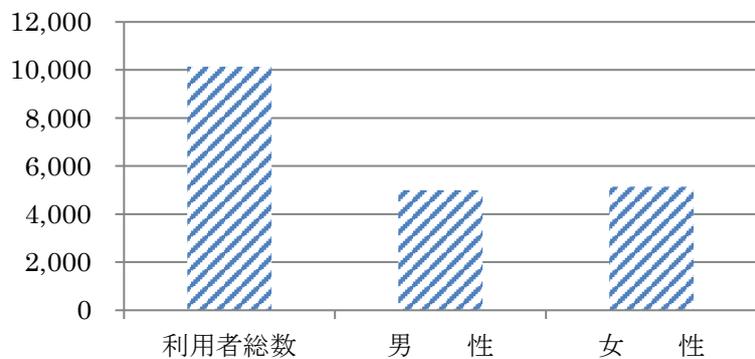
○団体利用者数（老人クラブ等）

	利用者数
男	407人
女	804人
合計	1,211人



○利用者数合計（個人利用者数8,926人+団体利用者数1,211人）

	利用者数
男	5,001人
女	5,136人
合計	10,137人



## 2 事業実施内容

### (1) 生きがいつくり活動

#### ア 教養講座、生きがいつくり支援講座など

事業名	回数	人数	開催日など
俳句・川柳大会	1回	13人	11/13 出展数俳句15、川柳24
文化祭・作品展	1回	68人	11/13
スマートフォン講座	2回	34人	3/10・11
絵手紙教室	1回	6人	3/15

※新型コロナウイルス感染症拡散防止のため、パソコン講習会、ボウリング大会、お出かけ企画バスツアー、盆踊り大会、楽しい新年会は中止。

代替え事業として、認知症サポーター養成講座、終活セミナーを開催。

#### イ 高齢者の居場所づくりの充実

和室とロビーでの囲碁・将棋、バンパーなどで憩いの場として毎日開放日頃の練習の成果を発揮する場を設定するため次の行事を実施した。

事業名	回数	人数	開催日
区長杯囲碁・将棋大会	1回	12人	9/24
館長杯囲碁大会	1回	10人	10/27
館長杯将棋大会	1回	18人	10/29
館長杯バンパー大会	1回	13人	10/30

※館長杯囲碁・将棋・バンパー大会は、2回予定していたがコロナウイルス感染症拡散防止のため1回ずつ開催。

#### ウ センターボランティアなど活動支援(年間24回、138人)

活動名称	内容
ボランティアミーティング	行事への取組み、情報交換を目的に、定期的に行う
百歳体操、各種講座、行事	受付業務、準備、事業実施時の見守り
センターだより	折込作業や地域集会所などへの配付
その他	囲碁・将棋対面用感染防止用シート製造、設置 年末大掃除、臨時休館から開館にあたっての準備
健康麻雀	ボランティア市民活動センターと協力し、講師のアシスタントとして活動の場を提供
認知症サポーター養成講座	8月25日実施。認知症の方を地域で支えるボランティアを養成する講座。参加者10名
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「パソコンサークル」の講師とアシスタント</li> <li>・「囲碁大会」「将棋大会」「バンパー大会」の審判</li> <li>・各種講座の受付、準備、片付け等</li> <li>・大掃除</li> </ul>

#### エ 世代間交流の推進

毎年実施の「淀川フェスティバル」、子ども・子育てプラザとの「昔遊び」、さらに「子ども文化まつり」も中止になったため、代替え事業として、感染対策を徹底したうえで、区民センター、こども会、老人クラブ等関係機関と連携し開催した。

事業名	回数	人数	開催日
こどもスポーツ体験	1回	140人	11/15

オ サークル活動支援等

事業名	回数	参加人数	備考
3B体操①②	19回	136人	第2・4月曜日 午前9:30～10:45 午前10:55～午後0:10
囲碁	23回	227人	毎週木曜日 午前10:00～正午
うたごえ①	1回	13人	第1・3火曜日 午後1:30～3:00
うたごえ②	0回	0人	第2・4金曜日 午前10:30～正午
絵手紙	4回	22人	第2木曜日 午後1:30～3:30
大人の塗り絵	13回	86人	第2・4土曜日 午後1:30～3:30
健音歌体操①	15回	245人	第1・3水曜日 午前10:00～11:30
健音歌体操②	13回	146人	第2・4水曜日 午前10:00～11:30
詩吟	1回	8人	第2・4火曜日 午後1:00～4:50
社交ダンス	0回	0人	第1・3木曜日 午前10:00～正午
大正琴	8回	46人	第1・3金曜日 午前10:00～午後0:30
デジカメ	4回	23人	偶数月第1木曜日 午後1:30～3:30
俳句①	7回	55人	第1土曜日 午前10:00～正午
俳句②	8回	60人	第1土曜日 午後1:00～3:00
パソコン初級	14回	87人	第1・3金曜日 午後2:30～4:00
パソコン中級	14回	80人	第1・3金曜日 午後0:30～2:00
パソコン勉強会	14回	152人	第1・3金曜日 午前10:00～11:30
パッチワーク	10回	61人	第1・3水曜日 午前10:00～正午
フラダンス	15回	222人	第2・4金曜日 午後1:30～3:30
民踊	12回	389人	第1・3火曜日 午後1:30～3:30
民謡①	0回	0人	第1・3火曜日 午前10:00～正午
民謡②	2回	26人	第1・3木曜日 午前10:00～正午
笑いヨガ	0回	0人	第2・4水曜日 午後1:30～2:45
ボランティアミーティング	5回	53人	第3木曜日 午後2:40～3:40
ボウリング	27回	203人	毎週火曜日 正午～午後1:30
ボランティア活動他	21回	82人	不定期に活動
サークル世話役会他	10回	176人	6月、8月、9月、11月、3月
囲碁同好会	毎日	午前10:00～午後5:00	
将棋同好会	毎日	午前10:00～午後5:00	
バンパー同好会	毎日	午前10:00～午後5:00	

※うたごえ、詩吟、社交ダンス、民謡、笑ヨガは新型コロナウイルス感染症拡散防止のため活動自粛

(2) 健康づくり介護予防の推進

事業名	回数	人数	開催日
百歳体操	168回	1,392人	毎週火曜日
介護予防運動鍼灸ケア教室	30回	205人	7~8月、10~12月の土曜日
健康麻雀	4回	48人	7/20、10/19(各2回)
8020 歯科健診 (歯科医師会と共催)	1回	21人	7/29
座って楽しむ脳トレ体操	1回	27人	3/12
脳トレ活用タイム	1回	3人	3/17

※百歳体操は、新型コロナウイルス感染症拡散防止のため参加者人数を削減して実施しなければならないため、新たに2クラス増設し、4クラスで実施した。  
さらに、1月15日～2月28日までは、大阪市の指示により活動を全面的に自粛しなければならないが、百歳体操は、実施可能とのことであったので、空き室を活用し3月末まで水・木・金曜日にも臨時的に百歳体操を実施した。

(3) 相談、情報提供の充実

ア 相談事業

事業名	回数	人数	開催日
生活お役立ち講座「車いすとアイマスク体験」	1回	5人	6/23
生活お役立ち講座「血压百科・血压サージってなあに？」	1回	10人	10/22
終活セミナー「エンディングノートを書きましょう」	1回	13人	9/2
ちょいかつ！スマホ…スマホの簡単な操作を職員が教える			
防犯、特殊詐欺など啓発…百歳体操・囲碁・将棋参加者に、講話やDVDによる啓発を年間数回実施。			

イ 身近な相談体制づくり

- ・新型コロナウイルス感染症による休館や利用制限中は、職員による電話相談を実施。日々の悩みや話し相手となり繋がりづくりに努めた。
- ・「ご意見箱」を設置しセンター利用の希望や、苦情等直接相談しにくい利用者への配慮を行った。
- ・相談しやすき体制づくりのため、日頃より利用者とのコミュニケーションに努め、気軽に話してもらえるように心掛けている。
- ・センター内で解決しにくい事柄については、各種専門機関(区役所、包括支援センターなど)に協力を求め、連携を図った。

#### ウ 広報活動

- ・センターの周知を目的に、区内のスーパーマーケットや医院、薬局等にセンターだよりを設置し、センターだより配布先の拡大に努めた。
- ・区広報誌へ毎月の行事を掲載、また区社協の各事業で発行する情報誌にも掲載し、広く周知に努めた。

#### (4) 老人クラブ活動の支援

- ・センターだよりに区老連だよりを折り込んで配付
  - ・共催事業の実施（ペタンク・グランドゴルフ）
- ※ディスコン大会、シャフルボード大会は、新型コロナウイルス感染症感染拡散防止のため中止した。

## その他の地域福祉推進事業

### 1 高齢者等福祉活動

#### (1) 各地域敬老月間事業の助成

ア 区社会福祉協議会から各地域主催の敬老会行事等に助成を行った。

イ 善意銀行から各地域社協へ払出を行った。

#### (2) 金婚夫婦お祝い事業

金婚夫婦に対し、お祝い品の贈呈をした。

#### (3) 区内高齢者訪問事業

9月に区社会福祉協議会と区役所が100歳を迎える高齢者に、長寿を祝福して記念品を贈呈した。

### 2 各種団体への助成

子供会連合協議会等の各種団体が行う事業に対し助成金を交付した。

### 3 組織・運営の強化事業

#### (1) 淀川区福祉基金の充実

区社会福祉協議会の経営基盤を充実させるため、基金の活用を行った。

#### (2) 会員の充実

幅広い活動を展開するために、会員の充実を区民並びに区民各事業所に広く呼びかけ、地域福祉に対する意識の効用を図った。

### 4 後援などの事業

#### (1) 共催 こどもスマイリング・プロジェクト

開催日：令和3年2月20日（土）

内 容：「職業体験型食育プログラム」の提供を通じて、食品ロス削減を含むエシカル消費を学び、「食」を楽しむ。

共催先：公益社団法人 大阪府理学療法士会

#### (2) 協力 ひきこもり講演会・相談会

開催日：令和3年5月8日（土）

内 容：「ひきこもり講演会・相談会」

協力先：一般社団法人マノ・ア・マノ

### 5 社会福祉士養成のための実習受入れ事業

社会福祉士の養成のため、同資格取得に必要な「社会福祉援助技術現場実習」における実習先として、養成校と連携しながら実習生7名の受入れを行った。

## 6 就労訓練事業

中間就労支援事業所を通じて、4名の精神疾患の訓練生の受入れを行った。

## 7 こどもレスキュー事業【新規】

新型コロナウイルス感染症等の影響により、生活に困窮した世帯に対し、区内企業からの寄付を原資に「こどもレスキュー事業」を立ち上げ、中学生までの子どもを養育している世帯に対し、家賃等を補助する経済的支援または食糧支援を行った。

経済的支援の主な支援内容は、家賃や水道光熱費の生活維持に関する支援や、制服の購入、給食費の支払い等学校生活に関する支援であった。

支援状況（令和3年3月31日時点）

	経済的支援	食糧支援	合計
件数	39件	29件	68件

# 社会福祉法人 大阪市淀川区社会福祉協議会

令和3年3月31日現在

## 基本会員名簿

(順不同 敬称略)

### 《理事・監事》

三田和夫	辻川松子	三前 栄	森本久雄	大平義春
田中幸恵	松阪輝雄	嘉悦靖人	森田 勲	中村 順
尾崎豊美	今田 正	大西継一	草積祥子	長野泰信
石井孝司	住友孝明	辻川松子	西田裕二	泉水 清
古濱一三				

### 《評議員》

辻本啓二	三好静雄	大城盛光	山本隆章	吉村昌樹
角本ひとみ	増田裕子	高田良章	菊田幸子	田内優子
森田清次	川崎 廷	山本美也子	中村 宏	牧 泰行
一丸博司	西尾喜美子	北野隆士	松山征勝	中本勝美
多田秀子	中尾達雄	空 伸子	小澤 明	森 光示
村上嘉代子	島林 豊	竹林けい子	竹川 浩	水本義和
北村徹男	明智博之	高橋清一	辻林 厚	

## 名誉会員名簿

末中憲二	大内乗和	細田久枝	北中晴彦	福岡英雄
高橋 寛				

## 賛助会員名簿

### ◎新東三国

#### 《個人》

中村由紀子	筒井直美	岩井恵子	新田信孝	岩佐純一
-------	------	------	------	------

### ◎東三国

#### 《個人》

土井重治	山本喬一	坂本 勉	南 良栄	井口むつみ	大西美佐子
松田昭子	橋本宏美	藤井純柯	山口政雄	川野永二	板谷 勉
藤田ひとみ	松阪栄子	田中讓司	横山徳彦	石田雅之	金子亜貴

◎北中島

《個人》

森本久雄	林田啓子	田中鈴恵	住友俊明	小野博子	和田芳郎
畑 弘志	大垣久美子	辻井元男	足立由香理	佐々木佳子	八木佐百合
田中恵子	池永公一	小西奈緒子	高嶋正治	久保みのり	石本久美子
田中昌弘	榎木照夫	佐藤博紀	山仲安一	浅田一雄	中村悦子
小泉眞二郎	小谷多希	杉田範子	明光寺順一	鈴木金二郎	西川 勇
前田久美子					

◎宮原

《個人》

竹中妙子	有蘭正秀	川原和幸	伊藤克利	田中久満	大田陽子
松阪輝雄	徳田忠義	竹中妙子	津田清美	西口 隆	筒井孝治
梅林かず子	山田久美	山本多美	近藤令子	新海宏一	土橋俊秋
池内慶也	杉原一夫	藤崎 太	岩井寿克		

◎西三国

《個人》

今井算夫	岡 孝	大屋朱美	山口忠雄	萬里川富士夫	杉本清美
平田治男	岡 憲子	新井悦代	近藤弘司	高木澄子	山地哲雄
大屋静温	奥林和夫	鈴木帝子	一井 豊	秋山里美	川西 太
池田元士	伊原弘雄	薄木豊子	山下弘子	南 正治	植田和広
滝澤祐樹	伊藤眞佐美	服部隆志	長田隆郎	服部隆志(自敬寺)	
嘉悦靖人					

◎三国

《個人》

三前 栄	栞波田卓見	泉 勝	貢藤啓子	森田 勲	森田清次
寺井信行	高田元明	前田恒治	安田一弘	宮内明子	久門 勝
山本宗孝	田中庸皓	西海厚子	浅葉正美	大西美穂	木原輝昭
堀 いつみ	三好和也	山根雅郎	松方正雄	山口恒敏	吉村隆訓
鳥枝健治	向埜裕志	田中茂男	辰巳 明	小林哲三	松本剛司
大塚民生	森 廣子	安達祐一	奥谷 華	宮内達夫	片松康雄

《法人》

三国新三商店街振興組合      みくにひじり幼稚園

◎新高

《個人》

米田美和	中尾直樹	足立貞喜	見崎正勝	三島きよ子	中村亜矢子
奥村嘉夫	三好静雄	中井 猛	宮内 優	奥村一弘	三島きよ子
岡鼻ゆき江	平谷千尋	古賀常郎	河野三千代	河内明夫	

◎西中島

《個人》

水本義和	北田幸弘	小合加代子	下山 薫	北中久雄	田中絹子
吉村俊英	落合宏之	橋本康彦	青木繁雄	舟田眞由美	市川隆一
山西 登	福若 守	豊田美也子	福間公夫	一村邦太郎	赤木健一
羽間福子	三田和夫	福岡光洋	大野 勉	田中升雄	青木正雄
小坂元彦	田中 薫	中野秀子	行俊豊文	森 憲治	吉田周平
上坂 正	田中 宏	中務良一	寺脇 巧	西村憲人	横田ゆかり
福田淳子	土屋智靖				

◎木川

《個人》

林 正勝	中野 進	馬場 裕	安西義忠	八井芳昭	田口健一
野村正代	上山ゆかり	河崎弘之	杉本清一郎	佐藤君江	藤島和也
野口一典	大西 濃	岩本満夫	中島美紀	川阪泰介	垣見則子
佐川美幸	富森志津江	長尾富充	長尾良子	松本雪雄	宮本雅介
山岡政男	穴吹美智子	金竹六郎	足立 進	下村 博	松岡行三
宮越睦子					

◎木川南

《個人》

金光秀人	城野秀作	北浦温子	小林昭子	田中健治	松村久仁子
小杉千恵子	立花 明	山田由紀夫	井出千代子	桑野勝美	関部示人
村田 勝	金溪清代	倉田雅博	永井民余子	猪野裕美	種村晃一
西岡和昭	梶川さとこ	飛松定雄			

◎十三

《個人》

西垣充和	下司太三	深谷 環	岩崎美由紀	森田清輝	吉田一夫
上甲明美					

◎野中

《個人》

田中久子	前川良子	和田憲一	脇 隆司	中田清子	小澤 明
山本艶子	四野咲子	脇 隆司	善入景子	尾河富美子	松本忠子
片岡美津子	野中地域活動協議会		野中北住宅振興町会		

◎神津

《個人》

徳永由起子	中村吉郎	堀 育弘	筒井誠一	河野 保	森田哲生
西尾良典	日向昌一	青木信幸	石高利昭	西澤秀雄	岡本隆長
中田八朗	大西良雄	小林憲一	中山 宏	山本清治	

《法人》

十三フレンドリー商店街振興組合代表理事横田圭司

◎新北野

《個人》

太田博紀 水野淳一 西岡仁史 中津邦夫 友善功明 垣内眞木子  
松尾嘉彦 片山雅己 岩本英己 田中繫治

◎塚本

《個人》

佐々木五郎 田口 進 牧本英子 西島隆明 福田 勉 辻 尚美  
福山順也 船木千恵美 堀 実男 山崎博文 上市正直 福間 都  
榎田正博 安田直芽 田端崇大 佐々木健仁 深川恵子 杉山光春  
厚浦宏司 久田貴枝子 木梨美奈子 菊川雅之 本荘寛美 植田正樹  
松本 昇 新田勝路 桑野さかえ 工藤美津子 菊川正信 中村正市  
山野智範 二川英子 平野 隆 赤澤恵子 杉本 優 新 善雄  
木村智恵 西村武弘 松本道拡 池田直美

◎田川

《個人》

鯖江長子 保木 茂 中村昌子 植田 稔 筒井道子

◎三津屋

《個人》

三津屋地域14町会

◎加島

《個人》

光在文子 坂本秀美 西岡淳一 細川多美子 池之上貞子 越智敏行  
藤川吉孝 原淵久代 小川孝義 中村武子 坂尾みや子 大久保常子  
末廣雄二 山本 徹 橋本秀治 中尾義秋 坂本 悟 香西優子  
藤崎イツ子 山田勝候 中畑 清 江口幸子 斉藤重弘 三谷良三  
山中紀雄 平井和秋 前田加代子 関口裕子 高田幸則 小島和子  
福田久三 高久野義信 西田由美 北村 修 生島 誼 田村耕作  
土居信貴 松山精助 芝本ヒデ子 谷岡賢幸 荒井哲夫 安原香代  
国広美佐江 福本泰之 香月京子 大西節子

◎区社協取り扱い

《法人》

(株)根岸製作所 水谷ペイント(株) (株)昭和製作所 日之出興産(株)  
ドイ不動産(株) 稲畑香料(株) モリ電子工業(株) (株)ユタカ (株)三木組  
(有)佐仲工業 (株)明治機械製作所 野田家商工(株) (株)ダイヘン

猪原運送(株) エンプラ産業(株) 日本電子工業(株) (株)茂木運送  
コロナ印刷(株) 藤原自動車工業(株) 清水こどもクリニック  
特定非営利活動法人あすなろの家 協同組合新大阪センイシティー 神津神社  
(株)関西新幹線サービック 光用寺 (株)吉川商店 (株)プラザオーサカ  
加藤広告(株) モト心療内科クリニック (株)松野園製薬所  
平成福祉会にいたかの里 ボルカノ(株) 中央冷熱(株) 医療法人秀壮会  
(株)日本介護医療センター 社会福祉法人博愛社 奥田医院 ダイヤ化成(株)  
医療法人田辺整形外科 トヨタカローラ新大阪(株) 社会福祉法人加島友愛会  
(医) 医伸会高岡クリニック 関 企画(株)

《個人》

吉村雅子 釧崎克己 勝又勇夫 出口博子 川東仙司 吉田ひろみ